

令和7年度エコ協力店いわて認定等業務

企画提案書作成要領

令和7年1月

岩手県環境生活部資源循環推進課

この「企画提案書作成要領」（以下「作成要領」という。）は、岩手県が実施する「令和7年度エコ協力店いわて認定等業務」（以下「本業務」という。）に関し、プロポーザルに参加しようとする者（以下「参加者」という。）が、書等を作成するために必要な事項を定めるものである。

参加者は、資料1「企画提案実施要領」を確認の上、本作成要領により必要な書類を作成し、提出するものとする。

1 企画提案書

参加者は、資料2「業務仕様書」の趣旨等を踏まえ、資料1「企画提案実施要領」に掲げる書類を添付し、提出するものとする。

(1) 提出書類

資料1「企画提案実施要領」4（4）ア提出書類のとおり

(2) 提案を求める事項

下記アからオに掲げる事項に係る業務の運営について具体的な提案を求めるもの。

なお、本提案については、そのまま実現されるものとは限らないこと。

ア 事業実施の方針及び方向性

イ 課題と考えている事項及び課題解決に向けて重点的に取り組む事項

ウ 資料2「業務仕様書」2（3）に掲げる委託業務内容の各事項について

エ その他「エコ協力店いわて認定業務」や3Rの推進に関する業務

オ 上記に掲げる業務の推進のための組織体制・人的体制及びコンプライアンス遵守体制

(3) 企画提案書作成時留意事項

提案に当たっては次の事項を考慮し、提案を求める内容についてPDCAサイクル(※)を活かした事業提案とすること。

ア エコ協力店いわて認定業務等の諸課題と考えている事項及び課題解決に向けて重点的に取り組むべき事項の抽出

エコ協力店いわて認定業務等の取組によって目指す内容（あるべき姿）を踏まえ、取組として改善すべき部分等を中心に記載すること。

イ 課題解決のための手法・施策（制度、各主体の役割・行動、成果）

県民、事業者、行政、NPO等の主体別に、アの内容を解決する対応（事業）について記載し、目指す成果を記載すること。

ウ 前記手法・施策の実施結果の確認・評価の手法

イの事業実施結果の確認と実施結果の評価方法等を記載し、実施結果により事業内容を見直すシステムについて記載すること。

※ PDCAサイクルとは、計画（Plan）→実行（Do）→検証（Check）→改善（Action）の頭文字を並べたもので、この流れを計画に活かしていくプロセスのことを言う。事業計画を立て（Plan）、これをもとに一定期間事業活動を行い（Do）、実績の評価と課題を抽出し（Check）、課題の原因を改善し（Action）、引き続き事業活動を継続していくことがPDCAサイクルになる。特徴としては計画から実行、検証、改善というプロセスを通じてさらに次の計画につなげていくことにある。

(4) 費用の見積

本業務に係る費用積算を様式6により提出すること（記載する金額は税抜（見積もった金額の110分の100）とする。）。

なお、費用は資料1「企画提案実施要領」2（4）記載の限度額内とすること。

(5) 仕様・提出部数等

- ・ 企画提案書のサイズはA4判縦とし、正本：1部、副本：1部提出すること。

2 その他留意事項

- (1) 提案は、全て提案書に記載すること。
- (2) 提案は1者につき1提案とし、提出後の変更・加筆等は一切認めないこと。
- (3) 提案に当たっては、様式5によること。ただし、必要記載事項が明記されていれば任意の様式によることも認める。
- (4) ページ番号は目次を除き通し番号とし、各頁の下部中央に印字すること。